

学外

【児童保育学科】

授業 & 活動

児童保育学科 教授
松本 俊穂

和太鼓演奏 ～その名は鼓娘～

松本ゼミが行っている実践活動についてご報告させていただきます。

児童保育学科の中で松本ゼミは、太鼓ゼミとされているようです。しかし、短大時代はこのゼミはオルファ楽器を中心とした楽器のアンサンブル活動が主流でした。本学科が小学校教員養成を行うようになり、小学校音楽科の内容にある「我が国や郷土の伝統音楽の指導…」を受け、現在の松本ゼミの形は、和楽器を取り入れる内容に拡張し、中でも勇壮さ溢れる和太鼓を取り上げたことから始まっています。

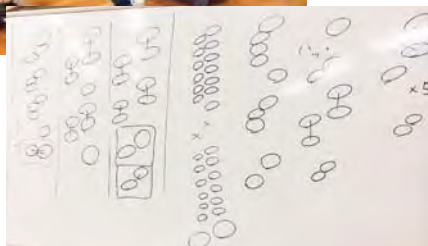
和太鼓の指導にあたっては、全国的に有名な大村の和太鼓指導者、「大村太鼓連くじら太鼓」の田中俊巳氏の下を尋ねました。

「大村くじら太鼓」は全国和太鼓コンテストにおいて度々優勝するほどの実力ある団体として全国にその名を馳せる有名な団体です。そのスタイルは独特で、田中氏が20年以上にわたり、九州各地・日本全国の技術を研究し、他の追随を許さない、くじら太鼓独自のリズムを作り上げています。加えてその指導は、言うまでもなく、和太鼓の一切を知らない我々を、聞くものを感動させるまでに導き上げる、その指導力は目を見張るものがあります。

現在我々は、会長である田中俊巳氏の後を引き継ぐ、息子さんであり且つ、和太鼓のプロとして活躍中の田中俊亮氏に指導を受けています。



上：練習風景
右：太鼓の譜面



さて、松本ゼミの和太鼓チーム名は「鼓娘」です。活動の主たる目標は、大学で行われる学園祭そして、4年生での学科行事でもあるエキシビションとなっています。当初は、学んだその技術をなんと

か他にも披露したいという一心で、押し掛けるように、幼稚園・保育園に赴き、その演奏の機会を見つけてきました。



学園祭での野外演奏

素晴らしい指導者に恵まれ、その熱意に応えようとする学生たちの姿勢は、次第に聴く者に感動を与える程になったのだらうと思います。次第に様々な所から演奏の依頼がかかるようになりました。

ここ最近では、長崎ブリックホールで行われた「看護士の会」オープニング演奏、また、社会福祉法人「ゆうわ会」における祭りイベント、浦上警察署主催「安全・安心祭り」の「取り」として舞台に立ち、他にも南山子ども園「ファミリーデー」、また学内では、留学生との交流会、トーゴ共和国との親善交流演奏及びワークショップ等、活動範囲も広がり、学生たちのやる気も一層拍車がかかっているように感じています。

3月、4年生は、事実上「鼓娘」からは引退です。そして3年生は来年度の学科行事であるエキシビションに向けて猛練習に入りました。学内では、毎日、昼休み、空き時間、放課後と太鼓の音が響いています。

現在、太鼓ゼミはフル稼働中です！



長崎ブリックホールでの演奏